



# 第85期報告書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

 大同特殊鋼株式会社

# CONTENTS 目次

目次	1	・会社の概況	15
・株主の皆様へ	2	会社の株式に関する事項	15
・当社グループの事業の概況	3	当社グループの主要な事業内容	15
・財産・損益の状況の推移	8	当社グループの主要な営業所および工場等	16
・トピックス・新製品	9	従業員の状況	16
・連結貸借対照表	11	重要な子会社および関連会社の状況	17
・連結損益計算書	11	取締役および監査役の状況	18
・連結株主資本等変動計算書	12	・株式についてのご案内	18
・貸借対照表	13		
・損益計算書	13		
・株主資本等変動計算書	14		

## 表紙のことは

当社は、北海道枝幸郡浜頓別町にあるクッチャロ湖のほとりに土地を所有しており、約40万本の植樹を行うなど、半世紀にわたって森林の維持・保全に努めてきました。

クッチャロ湖は、平成元年に日本で3番目にラムサール条約(水鳥の貴重な生息地である湿地を保護する国際条約)登録湿地に指定され、毎年春と秋には数万羽のコハクチョウが羽を休める中継地としても有名です。

当社は、平成17年にこの森を『クッチャロ 自然の森だいでう』と名付け、環境保全・自然愛護啓発のシンボルとし、社会貢献活動の一つとして環境教育など様々な環境活動を展開しています。

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より、大同特殊鋼ならびに大同特殊鋼グループ各社をご支援いただきまして、誠にありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。

さて、当社第85期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社グループは、特殊鋼をベースにした高い技術力を背景に「21世紀社会に貢献する創造的、個性的な企業集団」を目指すことを基本理念とし、製品の競争力を強化し、高収益体質を定着させ企業価値を高めることによって株主、取引先、従業員および社会の信頼と期待に応えられる『前進する企業集団』を目指しております。

当社グループは、急速な経営環境の変化の中、高い技術力を持ったグローバルサプライヤーとしての地位を磐石なものとするため、『安定収益確保と財務体質強化』に向けての施策に取り組み、企業価値最大化、株主価値最大化を重視した経営を行ってまいります。こうした基本方針のもと、「Local & Global」をキーワードとする次期連結中期経営計画を策定する予定としております。現時点での具体的な施策は、後記の「当社グループの事業の概況」のうちの「(3) 対処すべき課題」以下に記載しておりますが、安定収益基盤の拡充と成長事業・成長商品の深耕を図るべく、グループ一丸となってその達成に邁進する所存であります。

なお、当社グループが平成21年度以降に目標とする経営指標につきましては、次期連結中期経営計画を策定次第、提示させていただきます。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年 6 月

代表取締役社長

**小澤 正俊**



# 当社グループの事業の概況

## (1) 事業の経過およびその成果

当期の日本経済は、世界的な景気減速に伴う輸出の減少により期初から成長鈍化がみられましたが、秋以降には米国発の金融不安の深刻化および広域化を背景に、過去に例がないスピードで悪化し、厳しさが増してまいりました。特に、生産活動は海外需要の急減により未曾有の調整が行われてきました。

特殊鋼業界の主要需要産業である自動車産業につきましては、9月の米投資銀行破綻以降、内外需要とも急速に悪化し、国内販売が大幅に減少するとともに、今まで牽引してきた輸出も大幅な減少へ転じたことから、生産台数は前期を大きく下回りました。また、その他の需要分野につきましても、世界同時不況の中、需要の減退がみられました。各需要分野の急減速の影響を受け、当社グループの受注も多くの製品で減少を余儀なくされました。

このような需要環境の中、鉄スクラップ等の原材料価格上昇に対応した販売価格改善に加え、コスト削減、多角化事業による事業運営の安定性確保に努めましたが、第4四半期での売上数量急減による減収を吸収しきれず、当期の当社グループの売上高は5,326億55百万円と前期比587億43百万円の減収となりました。また、経常利益は85億33百万円と前期比289億67百万円の減益となりました。さらに、特別損失として投資有価証券評価損の計上や繰延税金資産の取り崩し等を行った結果、当期純損失は81億47百万円と前期比223億43百万円の減益となりました。

当期の配当につきましては、先に中間配当として1株につき4円とさせていただきますが、期末配当は、当期業績を踏まえ誠に遺憾ではございますが、1株につき2円に減配させていただきます。案で株主総会にお諮りし、ご承認いただきました。

## (2) セグメント(部門)別の状況

### ① 特殊鋼鋼材

当社グループの特殊鋼鋼材の主要需要分野である日系自動車産業の生産は、雇用・所得環境の悪化による国内需要の減少と、欧米市場での需要減、アジア、中東、ロシア等の資源国向けの減速による輸出の減少から前期比大幅に減少しました。その他の需要分野も、産業機械、建設機械をはじめ多くの分野で需要減退がみられました。

第3四半期連結累計期間では前年同期並みの数量を確保していたため、第4四半期で各需要分野において過去に類を見ない急速な在庫調整はあったものの、当社の売上数量は前期比17.7%の減少にとどまりました。ただし、第4四半期では前年同期比66.6%の大幅な減少となりました。

利益面では、鉄スクラップ、クロムをはじめとした各種金属価格上昇に対する販売価格改善、エキストラの拡大などの活動を推し進めるとともに、製造コストの徹底した削減、低水準稼働における効率生産の追求など最大限の自助努力を鋭意推進しました。

その結果、当期の特殊鋼鋼材の売上高は3,068億30百万円、前期比6.9%の減少となりました。

### ② 電子・磁性材料

高合金製品は、第3四半期以降における半導体市況の急落、自動車生産の大幅な減少により売上数量が減少しました。ニッケル原料価格が下落したことに伴うサーチャージ制の影響もあり、高合金製品の売上高は、数量減以上の減少率となりました。磁材製品は、HDDをはじめとするOA関連製品、自動車向け製品を中心に売上数量が減少しました。また、薄膜・電子材料は、欧米DVC(デジタルビデオ

カセット)市場の大幅縮小の影響を受けたコバルト蒸着材等で売上高が減少しました。

その結果、当期の電子・磁性材料の売上高は647億31百万円、前期比18.2%の減少となりました。

### ③自動車部品・産業機械部品

自動車部品関連は、国内および欧米市場での自動車販売不振、世界同時不況による国内外での普通トラック販売減少の影響により、熱間精密鍛造品、型鍛造品等で売上数量が減少しました。一方で、原材料価格上昇に対する販売価格改善を推し進めました。また、精密 casting 品は、欧州での自動車販売不振の影響によりターボチャージャー部品等の売上数量が減少しました。

産業機械部品関連は、世界経済の減速により民間設備投資需要の急速な落ち込みがありましたが、重電、航空機関連は比較的堅調に推移しました。また、高付加価値製品へのシフトおよび競争力強化に向け新設した7000tプレス営業運転を開始し、特長を活かした製品の受注も始めました。さらに、原材料価格上昇に対する販売価格改善も推し進めました。

その結果、当期の自動車部品・産業機械部品の売上高は1,041億47百万円、前期比10.1%の減少となりました。

### ④エンジニアリング

環境設備製品は、引き続き官需の冷え込みにより低迷しました。一方、工業炉製品は、真空焼結炉製品の売上高が減少しましたが、STC炉等の加熱・熱処理炉製品では増加しました。

その結果、当期のエンジニアリングの売上高は366億40

百万円、前期比10.9%の減少となりました。

### ⑤新素材

チタン製品は、国内外での需要低迷、在庫調整に加え、主要市場である欧州の通貨ユーロの下落という為替影響もあり売上数量が大幅に減少しました。粉末製品は、輸出を中心に新規拡販を推進し売上拡大を図りましたが、第3四半期以降の世界同時不況の影響により売上数量は微減となりました。また、粉末製品について後工程能力の増強を図りました。

その結果、当期の新素材の売上高は103億34百万円、前期比33.6%の減少となりました。

### ⑥流通・サービス

景気後退色が強まるにつれ、売上高は漸次減少し、当期の流通・サービスの売上高は99億71百万円、前期比0.7%の減少となりました。

なお、セグメント別の売上高につきましては、7ページの図のとおりであります。

### (3) 対処すべき課題

今後の日本経済は、先進国の景気後退が続くことに加え、これまで下支えとなってきた新興国、資源国経済も鈍化が見込まれ、当面、悪化の続く厳しい情勢が継続するものと予想されます。また、外需の持ち直しにより、最悪期を脱し上向きに転じた後も回復感に乏しい展開が見込まれ、本格的な回復には時間を要するものと考えられます。特殊鋼業界におきましても、主要需要分野である自動車産業が低水準な生産見込みにあることから、販売数量の減少は避けられないものと考えられます。

当社グループの受注も、引き続き上半期まで需要低迷、在庫調整の影響を受け、低水準で推移するものと予想されますが、第3四半期以降には、在庫調整も完了し持ち直してくるものと考えられます。

このような環境の中、抜本的構造改革と多角化事業拡大をさらに推進し、収益基盤の再構築に努めてまいります。具体的には、特殊鋼鋼材、電子・磁性材料のセグメントで大幅なコスト削減に向けた抜本的構造改革を推し進めるとともに、粉末製品、ターボチャージャー関連 casting 部品など事業の安定性を確保する多角化事業を成長市場において拡大してまいります。また、生産リードタイム短縮による、たな卸資産圧縮をはじめとしたフリー・キャッシュ・フローの創出に向けた活動を推し進め、財務体質改善に努めてまいります。

さらに、当社の持てる技術的ポテンシャルを活かし、環境、エネルギー、エレクトロニクス等成長分野での市場開拓を進めてまいります。エチレン精製用炉管、高性能磁気センサー、集光式太陽光発電など将来性の高い新事業、新製品の開発、商品化も進んでおり、収益への早期貢献を目指

してまいります。

当社グループに与えられた使命は、より進化した製品や技術の開発であると認識しております。この使命を果たすため、常に最先端の技術開発とその活用に努め、高い技術力を持ったグローバルサプライヤーとして、社会に貢献する特長ある商品の創造に邁進いたします。

当社グループは、急速な経営環境の変化の中、高い技術力を持ったグローバルサプライヤーとしての地位を磐石なものとするため、『安定収益確保と財務体質強化』に向けての施策に取り組み、企業価値最大化、株主価値最大化を重視した経営を行ってまいります。こうした基本方針のもと、「Local & Global」をキーワードとする次期連結中期経営計画を策定する予定としておりますが、現時点では、以下の項目を対処すべき重点課題として認識しております。

#### ① 既存事業の収益基盤強化

特殊鋼鋼材を中心としたコアビジネス部門では、大幅なコスト削減に向けた抜本的構造改革を推進するとともに、複眼的な提携・協業を含めた製品ポートフォリオ改革を推進し、収益性の改善を図ってまいります。さらに、技術・品質における先進性を維持・強化し、安定的に高収益をあげる事業基盤を構築してまいります。

#### ② キャッシュ・フロー経営の強化

生産リードタイム短縮による、たな卸資産圧縮をはじめとしたフリー・キャッシュ・フローの創出に向けた活動を推進し、財務体質改善のスピードを上げてまいります。また、設備投資案件は厳選する一方で、平成17年度から平成20年

度に先行して実施してきた戦略的な設備投資の効果最大化を図り、ROA（総資産利益率）の改善を実現してまいります。

### ③グローバル展開の加速と成長分野での市場開拓

中長期的に見た場合、アジアを中心とした新興国で特殊鋼需要が拡大すると予測されており、卓越した技術力に裏打ちされた競争力のある『No. 1商品』の市場開拓、ニーズ開拓を推進してまいります。海外メーカーとの複眼的のアライアンス構築、海外における日系顧客とのアライアンス深耕と現地顧客の拡大も図ってまいります。

今後の成長のもう一つの軸として、環境、エネルギー、エレクトロニクス等成長分野での市場開拓を重点的に進め、当社の持てる技術的ポテンシャルを最大限に活かし、高度化する社会のニーズに応えてまいります。

### ④連結経営の強化によるグループ企業価値の向上

戦略子会社の育成、強化を進める一方で、低採算事業については、さらに事業再構築あるいは撤退を進め、連結経営資源の効率化を図ってまいります。また、垂直分業の役割を果たすグループ会社については、一体運営体制を強化し、連結事業シナジーの最大化を図ってまいります。

### ⑤マネージメント体制の強化

内部統制システム整備のさらなる強化を図るとともに、あらゆるステークホルダーに対して企業の社会的責任（CSR）を果たすことのできる体制を構築してまいります。天災に対するリスク管理強化、企業倫理の徹底、地球環境対応を積極的に推進し、市場および社会からより信頼されるよう

努めてまいります。

### (4) 資金調達の状況

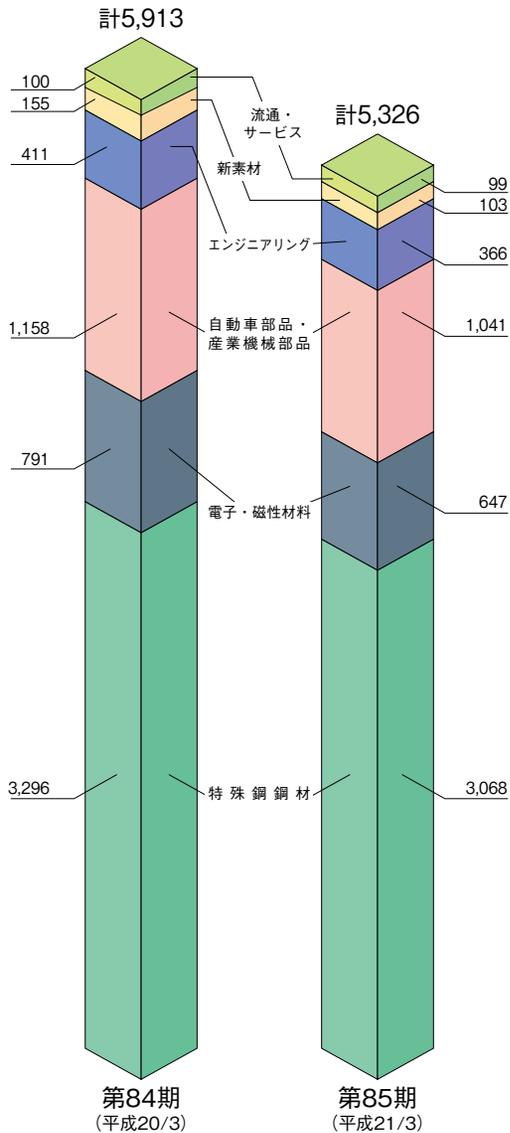
当期の所要資金は、自己資金および借入金、社債発行等で充ちいたしました。

### (5) 設備投資等の状況

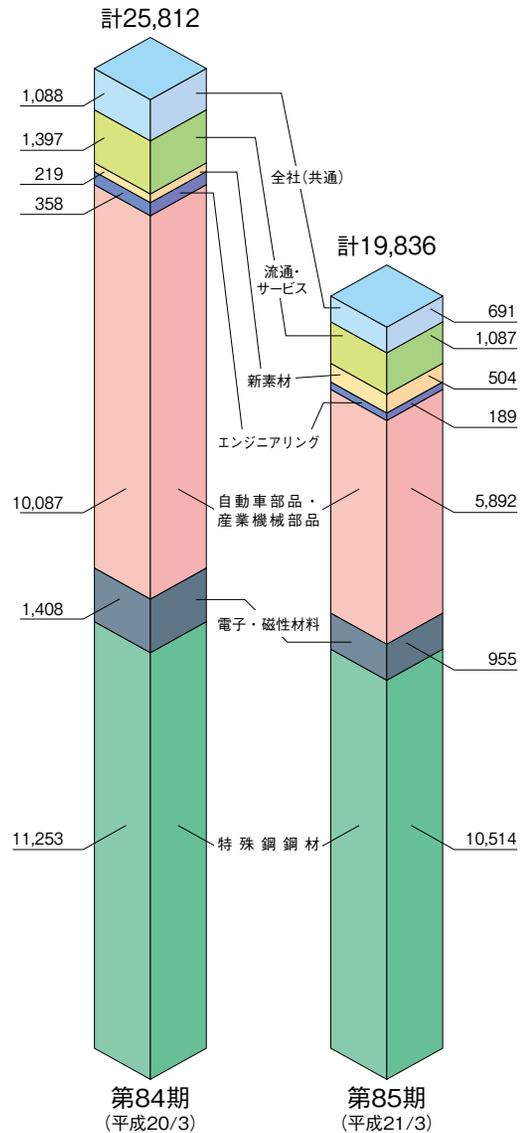
当期において実施した当社グループの設備投資の総額は198億36百万円であります。なお、セグメント別の設備投資額につきましては、7ページの図のとおりであります。

# 当社グループの事業の概況(つづき)

■ セグメント別の売上高 (単位: 億円)

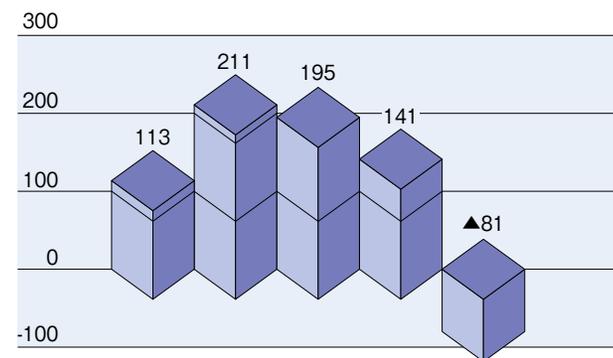
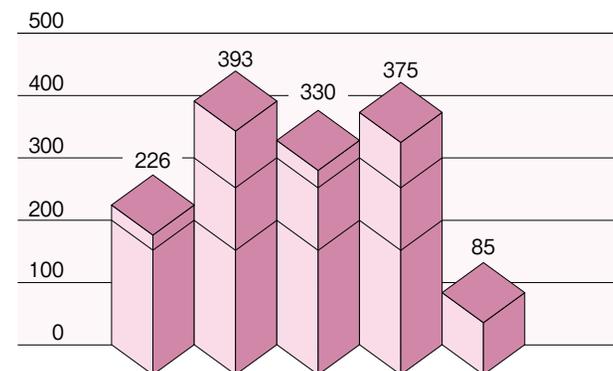
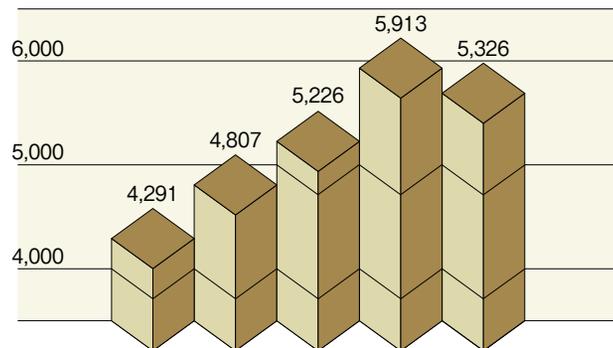


■ セグメント別の設備投資額 (単位: 百万円)



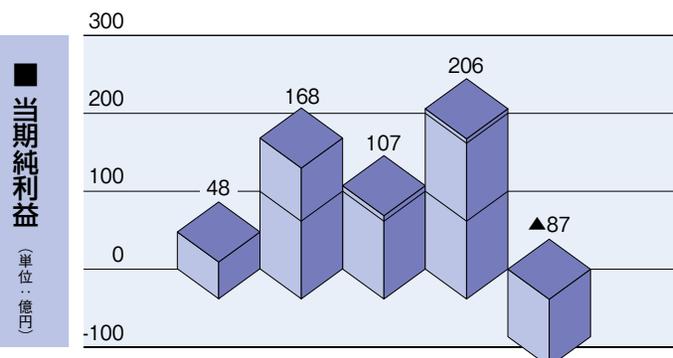
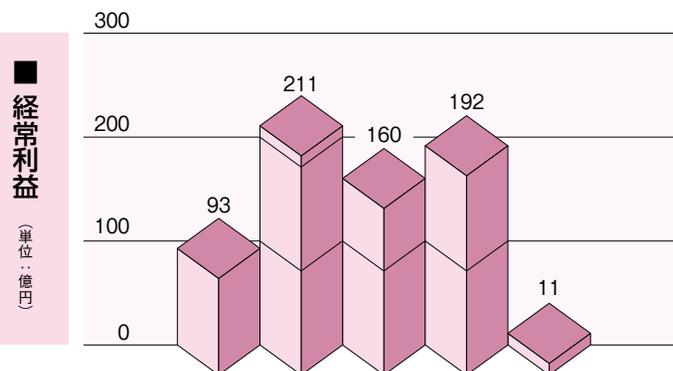
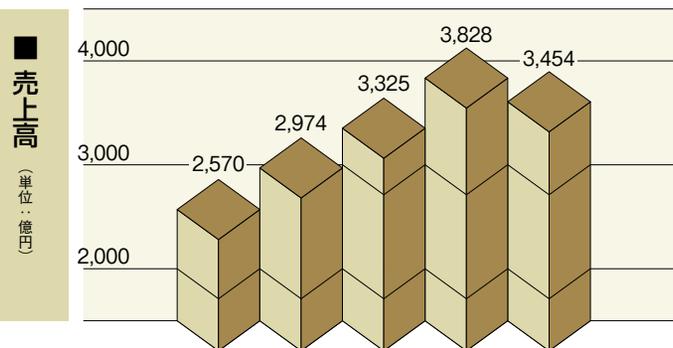
# 財産・損益の状況の推移

## (1) 企業集団の財産および損益の状況の推移



第81期 (平成17/3) 第82期 (平成18/3) 第83期 (平成19/3) 第84期 (平成20/3) 第85期 (平成21/3)

## (2) 当社の財産および損益の状況の推移



第81期 (平成17/3) 第82期 (平成18/3) 第83期 (平成19/3) 第84期 (平成20/3) 第85期 (平成21/3)

### ■コアジサシを呼ぼう ～知多工場グリーンング・プラン～

当社の知多工場は名古屋港湾区の中ほどに立地する緑豊かな工場です。工場の操業開始から約45年にわたり育んできた、およそ15万平方メートルのまとまった緑地が存在し、たくさんの野鳥が集まる豊かな生物多様性を保持しています。平成17年からCSR（企業の社会的責任）の一環としてエコソリューションズネットワーク株式会社・日本野鳥の会 愛知県支部殿などの協力のもと“森づくり・ピオトープづくり”を行っています。CO<sub>2</sub>削減、生物多様性の保全を目指し、将来的には絶滅危惧種に指定されているカモメの仲間“コアジサシ”を呼ぶ計画を進めています。

※ピオトープとは：生き物（Bio）がそのままに生息活動する場所（Top）という意味の合成されたドイツ語です。



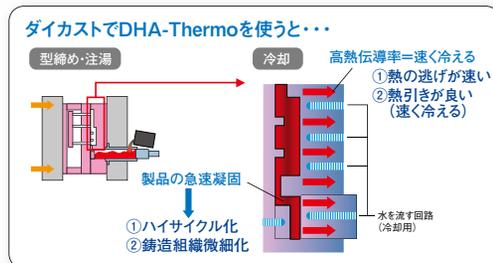
### ■ホテルが飛ぶ美しい工場

当社の星崎工場には、工場内にホテル園があります。現在のホテル園は平成16年4月に開園しましたが、さらに多くの皆さんが来場しホテル観賞を楽しんでいたいただけるよう平成20年11月、ホテル園を拡張しました。この拡張により車椅子の方もホテル観賞を楽しめるようになりました。ホテルは生育環境に敏感な生き物であり、きれいな水と緑豊かな周辺環境が必要です。“ホテルが飛ぶ素晴らしい環境の鉄鋼メーカー”ということを皆さんに知っていただけるよう、癒しの空間を提供し、ホテルの生育を続けていきます。



### ■高熱伝導率ダイカスト金型用鋼DHA-Thermoを発売

ダイカスト鑄造のハイサイクル化（急速凝固化）や鑄造組織微細化および金型寿命向上に適した『高熱伝導率ダイカスト金型用鋼 DHA-Thermo』を開発し、平成20年7月に販売を開始しました。熱伝導率は、広く使用されている「SKD61（JIS 鋼）」の約2倍と高く、金型を速く冷やすことができ、鑄造時間を10%短縮することが可能です。



### ■クッチャロ湖 学生環境サミット開催される

平成20年9月1～8日、日本最北の当社の所有林「クッチャロ 自然の森だいでう」を有するクッチャロ湖畔（北海道枝幸郡浜頓別町）においてクッチャロ湖学生環境サミット実行委員会主催による「クッチャロ湖学生環境サミット」が開催されました。このサミットは、共催である地元NPOエコワーカーズと浜頓別町の他に環境省、北海道など多くの後援をはじめ、当社および当社グループ各社などの協賛により実現し、主に東京および名古屋の大学生約100名（19大学）が参加されました。8日間にわたりクッチャロ湖周辺を含む町内の自然に飛び込んで「人と地球のつきあい方 ～自然保護と利用～」をテーマに学生エコロジストがワイズ・ユースのあり方や地球振興を模索し提言するのがこのサミットの目的です。

学生のみなさんは全員、キャンプ場でテント生活をしカヌーや森散策、漁業体験などグループで体験したエコツアーメニューを通じてまとめた提言を最終日に発表し、町民等の来場者にも評価していただきました。



## ■集光式太陽光発電実証プラントを建設

平成 21 年 2 月 7 日、愛知万博の理念と成果を継承する「あいち臨空新エネルギー実証研究エリア」の開所式が行われました。当社では、ひまわりのように常に太陽を追いかけレンズで太陽光を高性能な発電セルに集めて発電する集光式太陽光発電実証プラント（公称出力 30kw）を建設し、メガソーラー（メガワット級の太陽光発電所）に適用可能な技術の確立を目指しています。これまでシステム単体での発電実証試験を国内外で実施し、発電性能の信頼性を確認してきました。この開発により、多数の発電システムを連結した場合の発電性能、実際の消費地への長期にわたる電力供給の可能性を実証します。なお、集光式太陽光発電プラントとしては国内最大の出力になります。



## ■大同アミスター ベトナム現地法人が本格稼働

当社のグループ会社である大同アミスター株式会社との共同出資により、ベトナムの首都ハノイから東北東に24km離れたフォーノイA工業団地内に「DAIDO AMISTAR (VIETNAM) CO.,LTD」を設立しました。平成 20 年 12 月に事業ライセンスを取得し、平成 21 年 3 月より本格稼働しています。日系大手の需要家がベトナムに進出していることに伴い、金型加工メーカー向けに工具鋼の在庫、切断販売プレート加工を行い、平成 25 年にはベトナム工具鋼市場でシェア 3 割獲得を目指しています。

当社グループのアジア工具鋼販売拠点としては7カ国目となり、各地の工具鋼需要増や即納ニーズに対応するとともに、アジア拠点全体で在庫体制の最適化を図り、海外工具鋼事業の強化を図っていきます。



## ■ノイズ抑制シート 高透磁率タイプ「DPR-MF3」を発売

金属粉末と合成ゴムを複合化したノイズ抑制シート「DPR」に高透磁率タイプ「DPR-MF3」が新たに仲間入りしました。近年、携帯電話、デジタルカメラなどの小型化・多機能化に伴うノイズ対策、無線識別(RFID)の通信距離改善などノイズ抑制シートのニーズが高まっています。電子機器内部のノイズ発生源に「DPR」を貼るだけでノイズ抑制に役立ちます。「DPR-MF3」は、厚さ 0.05mm からラインナップ、難燃性 UL94-VO を確保しながら業界最高水準の透磁率（磁気の通しやすさ）120 を実現しました。

さらに、ハロゲンフリー・難燃性・高透磁率の3つのニーズを確保したノイズ抑制シート「DPR-MEQ1」を開発し、平成 21 年 4 月から販売を開始しました。



## ■ハンドボール部「フェニックス」2冠達成!

みなさんのご声援ありがとうございました。

平成 20 年 12 月 17 ~ 21 日に開催された第 60 回全日本総合ハンドボール選手権大会において、当社ハンドボール部「フェニックス」は決勝戦でライバル大崎電気を相手に勝利し、3年連続 13 度目の優勝を飾りました。さらに、平成 21 年 3 月 14, 15 日に開催された第 33 回日本ハンドボールリーグ・プレーオフの決勝でも大崎電気と対戦し、終盤は一進一退の攻防が続くも終始リードを保ちながら“王者の貫禄”をみせ、4年連続 14 度目の優勝を達成しました。

厳しい経済情勢の中での優勝（2冠）、これもファンのみなさんをはじめ、関係者のみなさんの熱い声援の賜物です。今後ともみなさんの応援をお願いいたします。



## 連結貸借対照表

平成21年3月31日現在

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	252,251	流動負債	174,176
現金及び預金	23,112	支払手形及び買掛金	45,491
受取手形及び売掛金	79,428	短期借入金	90,565
有価証券	28,170	コマーシャルペーパー	10,000
たな卸資産	113,376	一年内償還予定社債	100
繰延税金資産	2,250	未払法人税等	1,043
その他	6,317	賞与引当金	5,405
貸倒引当金	△405	役員賞与引当金	77
固定資産	244,159	その他	21,493
有形固定資産	171,329	固定負債	126,622
建物及び構築物	54,814	社 債	21,100
機械装置及び運搬具	74,976	長期借入金	85,009
土地	35,234	繰延税金負債	6,009
建設仮勘定	2,299	再評価に係る繰延税金負債	1,694
その他	4,004	退職給付引当金	6,831
無形固定資産	1,301	役員退職慰労引当金	1,020
投資その他の資産	71,527	負ののれん	14
投資有価証券	48,295	その他	4,943
繰延税金資産	1,241	<b>負債合計</b>	<b>300,799</b>
その他	22,643	(純資産の部)	
貸倒引当金	△652	株主資本	166,983
		資本金	37,172
		資本剰余金	28,546
		利益剰余金	101,564
		自己株式	△299
		評価・換算差額等	△748
		其他有価証券評価差額金	△931
		繰延ヘッジ損益	△6
		土地再評価差額金	1,356
		為替換算調整勘定	△1,167
		少数株主持分	29,377
		<b>純資産合計</b>	<b>195,612</b>
<b>資産合計</b>	<b>496,411</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>496,411</b>

## 連結損益計算書

自平成20年4月1日 至平成21年3月31日

(単位:百万円)

科 目	金	額
売上高		532,655
売上原価		474,838
売上総利益		57,816
販売費及び一般管理費		48,701
営業利益		9,115
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,813	
持分法による投資利益	670	
その他	1,927	4,410
営業外費用		
支払利息	2,554	
その他	2,438	4,992
経常利益		8,533
特別利益		
移転補償金	166	
退職給付引当金戻入額	57	
固定資産売却益	33	
貸倒引当金戻入額	24	
投資有価証券売却益	2	
その他	7	291
特別損失		
投資有価証券評価損	6,916	
その他	855	7,772
税金等調整前当期純利益		1,052
法人税、住民税及び事業税	3,093	
法人税等調整額	4,812	7,905
少数株主利益		1,293
当期純損失(△)		△8,147

# 連結株主資本等変動計算書

自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日

(単位:百万円)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成20年3月31日残高	37,172	28,560	113,185	△307	178,611
在外子会社の会計処理の変更に伴う増減			△2		△2
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△3,471		△3,471
当期純損失(△)			△8,147		△8,147
自己株式の取得				△35	△35
自己株式の処分		△14		43	29
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	—	△14	△11,618	8	△11,625
平成21年3月31日残高	37,172	28,546	101,564	△299	166,983

	評 価 ・ 換 算 差 額 等					少数株主 持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成20年3月31日残高	7,704	△0	1,356	418	9,478	30,071	218,161
在外子会社の会計処理の変更に伴う増減	—	—	—	—	—	—	△2
連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当							△3,471
当期純損失(△)							△8,147
自己株式の取得							△35
自己株式の処分							29
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)	△8,635	△5	—	△1,585	△10,227	△694	△10,921
連結会計年度中の変動額合計	△8,635	△5	—	△1,585	△10,227	△694	△22,546
平成21年3月31日残高	△931	△6	1,356	△1,167	△748	29,377	195,612

## 貸借対照表

平成21年3月31日現在

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
流動資産	155,890	流動負債	124,665
現金及び預金	4,464	支払手形	3,580
受取手形	1,571	買掛金	26,231
売掛金	37,222	短期借入金	38,292
有価証券	28,100	一年内返済予定長期借入金	24,400
製品	5,593	コマーシャル・ペーパー	10,000
半製品	23,104	リース債務	9
仕掛品	15,770	未払金	3,786
原材料	20,913	未払費用	1,700
貯蔵品	6,501	未払法人税等	93
前渡金	27	前受金	2,439
前払費用	460	預り金	9,244
関係会社短期貸付金	9,709	前受収益	31
その他	2,451	賞与引当金	2,530
<b>固定資産</b>	<b>191,560</b>	工事損失引当金	223
有形固定資産	99,867	設備支払手形	600
建物	23,293	その他	1,501
構築物	7,486	<b>固定負債</b>	<b>101,329</b>
機械及び装置	52,637	社債	20,000
車両運搬具	628	長期借入金	76,400
工具器具及び備品	2,467	リース債務	29
土地	11,763	繰延税金負債	4,368
リース資産	37	その他	530
建設仮勘定	1,554	<b>負債合計</b>	<b>225,995</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>265</b>	<b>(純資産の部)</b>	
借地権	120	株主資本	122,385
ソフトウェア	85	資本金	37,172
ソフトウェア仮勘定	27	資本剰余金	28,694
その他の施設利用権	31	資本準備金	9,293
<b>投資その他の資産</b>	<b>91,428</b>	その他資本剰余金	19,401
投資有価証券	34,687	利益剰余金	56,803
関係会社株式	23,412	その他利益剰余金	56,803
その他の関係会社有価証券	495	特別償却準備金	223
出資金	1,087	圧縮記帳積立金	1,649
関係会社出資金	49	別途積立金	61,000
長期貸付金	68	繰越利益剰余金	△6,069
関係会社長期貸付金	14,695	自己株式	△285
長期前払費用	171	評価・換算差額等	△929
前払年金費用	14,686	その他有価証券評価差額金	△929
その他	2,107	<b>純資産合計</b>	<b>121,456</b>
貸倒引当金	△34		
<b>資産合計</b>	<b>347,451</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>347,451</b>

## 損益計算書

自平成20年4月1日 至平成21年3月31日

(単位:百万円)

科 目	金	額
売上高		345,410
売上原価		319,902
売上総利益		25,507
販売費及び一般管理費		26,122
営業損失(△)		△615
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,456	
その他	1,064	5,520
営業外費用		
支払利息	1,868	
その他	1,877	3,746
経常利益		1,159
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1	1
特別損失		
投資有価証券評価損	6,858	6,858
税引前当期純損失(△)		△5,698
法人税、住民税及び事業税	△137	
法人税等調整額	3,155	3,018
当期純損失(△)		△8,716

# 株主資本等変動計算書

自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日

(単位:百万円)

	株 主 資 本								
	資本金	資 本 剰 余 金			利 益 剰 余 金				利益剰余金 合計
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	特別償却 準備金	圧縮記帳 積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金	
平成20年3月31日残高	37,172	9,293	19,416	28,709	271	1,768	44,000	22,951	68,991
事業年度中の変動額									
剰余金の配当								△3,471	△3,471
特別償却準備金の取崩					△82			82	
特別償却準備金の積立					35			△35	
圧縮記帳積立金の取崩						△118		118	
別途積立金の積立							17,000	△17,000	
当期純損失(△)								△8,716	△8,716
自己株式の取得									
自己株式の処分			△14	△14					
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)									
事業年度中の変動額合計	—	—	△14	△14	△47	△118	17,000	△29,021	△12,188
平成21年3月31日残高	37,172	9,293	19,401	28,694	223	1,649	61,000	△6,069	56,803

	株主資本		評 価 ・ 換 算 差 額 等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成20年3月31日残高	△293	134,580	6,779	6,779	141,359
事業年度中の変動額					
剰余金の配当		△3,471			△3,471
特別償却準備金の取崩		—			—
特別償却準備金の積立		—			—
圧縮記帳積立金の取崩		—			—
別途積立金の積立		—			—
当期純損失(△)		△8,716			△8,716
自己株式の取得	△35	△35			△35
自己株式の処分	43	29			29
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)			△7,709	△7,709	△7,709
事業年度中の変動額合計	8	△12,194	△7,709	△7,709	△19,903
平成21年3月31日残高	△285	122,385	△929	△929	121,456

# 会社の概況 (平成21年3月31日現在)

## (1) 会社の株式に関する事項

■発行可能株式総数	1,160,000,000株
■発行済株式の総数	434,487,693株 (自己株式522,673株を含みます。)
■株主数	41,148名
■大株主	

株主名	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
新日本製鐵株式会社	44,298	10.19
明治安田生命保険相互会社	20,759	4.77
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口4G)	18,481	4.25
株式会社三菱東京UFJ銀行	15,658	3.60
株式会社みずほコーポレート銀行	15,543	3.57
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	14,964	3.44
本田技研工業株式会社	13,053	3.00
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	12,845	2.95
日本発條株式会社	12,697	2.92
三菱UFJ信託銀行株式会社	12,587	2.89

## ■株式所有者別分布状況

所有者区分	株式数 (千株)	株式数比率 (%)
金融機関	173,736	39.98
その他国内法人	153,468	35.32
個人・その他	74,822	17.22
外国人	30,716	7.06
証券会社	1,209	0.27
自己名義株式	522	0.12

## (2) 当社グループの主要な事業内容

セグメント区分	主要な事業内容または製品
特殊鋼鋼材	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車、産業機械および電気機械向け部材用材料、建設用材料、溶接用材料</li> <li>特殊鋼鋼材加工、流通</li> <li>原材料販売</li> <li>運輸、物流</li> </ul>
電子・磁性材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>高合金製品、電気・電子部品用材料、磁材製品 (OA・FA用モーター、自動車用メーター・センサー、計測機器用部品等)</li> </ul>
自動車部品・産業機械部品	<ul style="list-style-type: none"> <li>型鍛造品、熱間精密鍛造品および鋼機製品 (自動車・ベアリング向け部品等)</li> <li>自由鍛造品 (船舶・産業機械・電機・鉄鋼・化工機・石油掘削用部品、宇宙・航空機用部品等)</li> <li>鋳鋼品 (鉄道用マンガンレール、自動車・産業機械・電機・各種炉用部品、高級鋳鋼品等)</li> <li>精密鋳造品 (自動車・産業機械・電機・通信機器用部品等)</li> <li>製材用帯鋸</li> <li>エンジンバルブ</li> <li>圧縮機器、油圧機器、工作機械部品</li> </ul>
エンジニアリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄鋼設備、各種工業炉ならびにその付帯設備、環境関連設備 (排水・排ガス・廃棄物等の処理設備)、工作機械等</li> <li>機械設備の保守管理</li> </ul>
新素材	<ul style="list-style-type: none"> <li>粉末製品、チタン材料製品、形状記憶合金等</li> <li>開発製品</li> </ul>
流通・サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ会社製品の販売、福利厚生サービス、不動産・保険事業</li> <li>ゴルフ場経営</li> <li>分析事業、ソフトウェア外販事業</li> </ul>

### (3) 当社グループの主要な営業所および工場等

会社名	所在地	
大同特殊鋼株式会社	本社	名古屋市東区東桜一丁目1番10号
	営業所等	東京本社、大阪支店、福岡、新潟(燕市)各営業所
	工場等	知多(東海市)、星崎(名古屋市)、川崎(川崎市)、知多型鍛造(東海市)、渋川(渋川市)、知多帯鋼(東海市)、王子(東京都)、粉末(名古屋市)各工場、滝春テクノセンター(名古屋市)
	研究拠点	研究開発本部(名古屋市)

会社名	本社所在地
日本精線株式会社	大阪市中央区
大同興業株式会社	名古屋市東区
DAIDO PDM(THAILAND)CO., LTD.	タイ国チャチェンサオ県
大同アミスター株式会社	大阪府大東市
天文大同特殊鋼股份有限公司	台湾 桃園県
DAIDO AMISTAR(M)SDN. BHD.	マレーシア国セランゴール州
下村特殊精工株式会社	千葉県市川市
DAIDO AMISTAR(S)PTE LTD	シンガポール国
大同マテックス株式会社	川崎市川崎区
大同資材サービス株式会社	名古屋市南区
大同エコメット株式会社	名古屋市南区
大同テクニカ株式会社	愛知県東海市
株式会社ガイドー電子	岐阜県中津川市
Daido Electronics(Thailand)Co., Ltd.	タイ国アユタヤ県
大同スペシャルメタル株式会社	東京都港区
株式会社大同キャスティングス	名古屋市港区
フジオーゼックス株式会社	静岡県菊川市
日本鍛工株式会社	兵庫県尼崎市
東洋産業株式会社	横浜市鶴見区

会社名	本社所在地
大同スターテクノ株式会社	群馬県渋川市
日星精工株式会社	名古屋市南区
大同精密工業株式会社	東京都豊島区
OHIO STAR FORGE CO.	米国オハイオ州
大同マシナリー株式会社	名古屋市南区
大同環境エンジニアリング株式会社	名古屋市南区
大同プラント工業株式会社	名古屋市南区
株式会社大同ライフサービス	名古屋市南区
木曾駒高原観光開発株式会社	長野県木曾郡木曾町
株式会社大同分析リサーチ	名古屋市南区
株式会社スターインフォテック	名古屋市東区
株式会社ライフサポート	名古屋市南区
Daido Steel(America)Inc.	米国イリノイ州

### (4) 従業員の状況

#### ■当社グループの従業員数

セグメント区分	従業員数(名)	前期末比増減(名)
特殊鋼鋼材	4,575	△ 167
電子・磁性材料	1,006	△ 747
自動車部品・産業機械部品	2,555	△ 33
エンジニアリング	664	+ 15
新素材	358	+ 7
流通・サービス	774	+ 18
全社(共通)	280	△ 12
合計	10,212	△ 919

(注)△印は、減少を示します。

#### ■当社の従業員数

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
3,578名	△ 56名	39.8歳	18.8年

(注)△印は、減少を示します。

# 会社の概況 (つづき)

## (5) 重要な子会社および関連会社の状況

### ■重要な子会社の状況

#### 特殊鋼鋼材

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
日本精線株式会社	百万円 5,000	※40.5%	ステンレス鋼線、金属繊維等の製造および販売
大同興業株式会社	1,511	※65.5	商事
DAIDO PDM(THAILAND) CO.,LTD.	百万 BAHT 157	※90.0	工具鋼プレートの加工および販売
大同アミスター株式会社	百万円 435	※96.8	金属製品および完成工具類の製造、販売ならびに加工
天文大同特殊鋼股份有限公司	百万 NT\$ 141	※51.0	金型用プレートの加工および販売
DAIDO AMISTAR(M) SDN. BHD.	千RM 7,980	※89.6	金型用鋼、金型用プレートの販売
下村特殊精工株式会社	百万円 297	※83.8	特殊鋼精密ロッドの製造、販売ならびに加工
DAIDO AMISTAR(S) PTE LTD	千\$ 3,545	※69.1	金型の製造および販売
大同マテックス株式会社	百万円 100	100.0	工具鋼、ステンレス鋼等鋼材の加工および販売
大同資材サービス株式会社	60	※100.0	当社および関連企業への諸資材の販売
大同エコメット株式会社	30	※100.0	当社および関連企業から発生する廃棄物のリサイクルならびに製鋼用原料・資材の製造および販売
大同テクニカ株式会社	40	55.0	鋼材の精整作業

#### 電子・磁性材料

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
株式会社ダイドー電子	百万円 1,490	100.0%	磁性材料の製造および販売
Daido Electronics (Thailand) Co.,Ltd.	百万 BAHT 140	※100.0	磁性材料の製造および販売
大同スペシャルメタル株式会社	百万円 400	50.0	ニッケル、ニッケル合金の販売

#### 自動車部品・産業機械部品

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
株式会社大同キャスティングス	百万円 2,215	100.0%	鋳造品、特殊鋼管材の製造および販売
フジオーゼックス株式会社	3,018	※51.7	エンジンバルブ等の製造および販売
日本鍛工株式会社	310	100.0	鍛鋼品の製造および販売
東洋産業株式会社	160	100.0	鍛鋼品の製造および販売

#### 自動車部品・産業機械部品

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
大同スターテクノ株式会社	百万円 150	100.0%	鍛造品の機械加工、精整、熱処理等の請負
日星精工株式会社	80	100.0	ネジ、ボルトの製造および販売
大同精密工業株式会社	90	※79.2	圧縮機部品、クラッチ等の製造および販売
OHIO STAR FORGE CO.	千US\$ 26	100.0	小型鍛造品の製造および販売

#### エンジニアリング

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
大同マシナリー株式会社	百万円 310	※96.0	工作諸機械、各種機械の製造および販売、機械設備の保守管理
大同環境エンジニアリング株式会社	50	100.0	灰溶融炉設備の運転・保守業務請負
大同プラント工業株式会社	36	64.3	炉関係の設計および製作ならびに販売

#### 流通・サービス

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
株式会社大同ライフサービス	百万円 490	100.0%	当社および関連企業の福利厚生施設の管理運用
木曾駒高原観光開発株式会社	237	※55.7	ゴルフ場の経営
株式会社大同分析リサーチ	75	100.0	製鋼、鋳物、セラミックス等の分析・試験・調査業務の請負
株式会社スターインフォテック	45	100.0	情報通信機器によるシステムの企画、設計、開発、保守運用受託
株式会社ライフサポート	10	※100.0	清掃業、警備業および給食事業等
Daido Steel(America) Inc.	US\$ 9	※100.0	輸出・輸入商事

(注) ※印は、間接所有の株式を含みます。

### ■重要な関連会社の状況

#### 特殊鋼鋼材

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
理研製鋼株式会社	百万円 485	38.7%	特殊鋼二次製品、切削工具等の製造および販売
東北特殊鋼株式会社	827	※10.1	高級特殊鋼、加工製品の製造および販売
丸太運輸株式会社	100	45.0	運輸および倉庫業
桜井興産株式会社	75	※43.3	金属製品の熱処理の請負
泉電気工業株式会社	70	40.0	電気工事の設計施工および自動制御盤等の設計製作
川一産業株式会社	30	35.0	沿岸荷役、倉庫および運輸業

(注) ※印は、間接所有の株式を含みます。

## (6)取締役および監査役の状況 (平成21年6月26日現在)

代表取締役社長	小澤正俊
代表取締役副社長	久村修三
代表取締役副社長	俣野一彦
代表取締役副社長	嶋尾正
常務取締役	津田孝良
常務取締役	深谷研悟
常務取締役	熊澤宏昭
常務取締役	中坪修一
常務取締役	岡部道生
取締役	勝山憲夫
取締役	宮嶋晃
取締役	板摺康宏
取締役	堀江均
取締役	安田保馬
取締役	新貝元武
取締役	高橋元
常勤監査役	橋爪優
常勤監査役	矢橋大三郎
監査役	小澤祐吉

(注) 1. 勝山憲夫氏は、社外取締役であります。  
2. 橋爪 優および小澤祐吉の両氏は、社外監査役であります。

事業年度	4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日
	期末配当金 3月31日
	中間配当金 9月30日
	(その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。)
株主名簿管理人	〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部
郵便物の送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の の全国各支店ならびに日本証券代行株式 株式会社の本店および全国各支店で行 っております。
公告方法	電子公告 (当社ホームページに掲載) 【アドレス】 <a href="http://www.daido.co.jp/koukoku/">http://www.daido.co.jp/koukoku/</a> ※事故その他やむを得ない事由によって電子 公告による公告をすることができない場合 は、日本経済新聞に掲載して行います。

(お知らせ)

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増請求等のお申出先  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、  
特別口座の口座管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出  
ください。
- ・未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

当社は、インターネット上にホームページを開設し、企業情報提供による知名度・理解度向上、社外との情報交換を促進するとともに、  
調達・販売・技術のグローバルなコミュニケーションの場として、さまざまな情報をご案内しています。 (<http://www.daido.co.jp/>)

